

第二回句会 俳句

【高点句】

☆塵払ふ苔の手ざはり秋深む 〈静〉

☆また来年祖父母に告げて秋の蟬 〈安津子〉

☆やんはりと辞退するなり敬老日 〈眞澄〉

☆イルカ跳ぶ秋空映す水を蹴り 〈明美〉

【各自一句】

・爽やかや銀翼は日を差してをり 〈抹茶〉

・金木屋記憶の端は色褪せず 〈洋子〉

・秋雨の早く来たりて迷う袖 〈莫院〉

・無花果の熟れたか烏とにらめっこ 〈撫子〉

・桃啜る地球の風はなまぬるき 〈紗希〉

・一房の重さの嬉しマスカット 〈明美〉

・猫じやらし同士でじやれて風の中 〈眞澄〉

・しなやかにしなやかなれと芙蓉咲く 〈千恵〉

・老いていく父を和ます秋の風 〈隆司〉

・蝸に誘われ寺へ磴のぼる 〈一馬〉

・夕暮れの峠を見上げて女郎花 〈茂〉

・白猫のしやなりしやなりと月あかり 〈静〉

・休暇明け笑顔の友と想い出と 〈安津子〉

\*以上、三九句（三句ずつ十三名）より、十四名が四句ずつ選句

\*高点句は、高得点の句より三句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による